

●質問及び回答

対象案件 一般競争入札（WTO）（4/17告示、5/31入札期限、6/1開札）
上下水道料金システム統合サーバ調達

2023/4/27更新

No	質問日	公表日	質問事項	回答
1	4/24	4/27	<p>【仕様書 項番 6.2.1(7)】</p> <p>消費電力に対して必要なバッテリー容量を構成するためにUPS重量が大きくなっています。 ラック2本への搭載では仕様書に記載の耐荷重を超える可能性があるため、その場合は新規ラックを増設する対応をとることは可能でしょうか。</p>	<p>やむを得ない場合は許容しますが、既設ラックは2本のためのため、ラック増設（耐震固定を含む）に係る費用は全て受注者が負担してください。</p>
2	4/24	4/27	<p>【仕様書 項番 6.2.1(4)】</p> <p>「WAN、LANそれぞれ10GBASE-Tのインターフェイスを2個以上有し、～」とありますが、ファイアウォール1台あたりに10GBASE-Tのインターフェイスを最低2個有していればよいという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>仕様書に記載しているとおり、ファイアウォール1台あたりに10GBASE-TのインターフェイスをWAN、LANそれぞれに最低2個有することが要件です。</p>
3	4/24	4/27	<p>【仕様書 項番 6.2.1(3) 6.2.2(3)】</p> <p>スタック機能に相当する「接続機器に対して仮想的に1台として振る舞い、筐体を跨いだリンクアグリゲーション接続可能な機能」を搭載したスイッチをご提案したいと考えておりますが、可能でしょうか。</p>	<p>仕様書に記載する要件を満たすことに加え、次の条件を満たす場合は一般的なスタック技術に準ずるものとして、許容します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続機器に対して仮想的に1台として振る舞うこと ・Active-Activeの冗長構成をとること ・冗長構成のための接続ケーブルも冗長接続すること ・オンライン（数100ms程度以内の瞬停）でファームウェアアップデートができること ・筐体を跨いだリンクアグリゲーションを構成できること ・ループへの対策を適切に行うこと ・運用上の留意点（特に、一般的なスタック機能との違い）について、運用手順書に明記し、「水道局システム基盤運用管理業務」従事者に引き継ぐこと
4	4/24	4/27	<p>【仕様書 項番 6.2.1(1) 6.2.2(1)】</p> <p>「別紙「次期サーバ別スペック一覧（案）」に示すリソース合計+拡張余力20%）」とありますが、「物理ノード及び仮想化管理機能に割り当てるリソース」に対しては、拡張余力20%を見込まなくてよいという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>本記載は、あくまで「別紙「次期サーバ別スペック一覧（案）」の仮想サーバへの割り当て余力に関する記載です。物理ノード及び仮想化管理機能が消費するリソースについては、提案する製品等により様々な対応が考えられるため、当方から具体的な拡張余力の指定はいたしません。本仕様書に記載する前提において令和10年12月まで安定的に稼働できることを条件に、受注者が考慮して設計してください。</p>
5	4/24	4/27	<p>【仕様書 項番 6.3(3)】</p> <p>イメージバックアップ時の仮想サーバ内の静止点（アプリケーションの一時停止、エクスポートデータの生成）は業務システム側で考慮されるという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです（仮想化基盤側として、静止点を強制的に確保するための仕組みを導入する必要はありません）。ただし、バックアップの設計、運用設計段階において、業務システム側と綿密に調整し、バックアップ処理の制御方法等を調整する必要があることには留意してください。</p>